



▲蓮池第四学童保育所竣工

▶桜前線が駆け抜けていきました。足早に、まちは淡い桃色から次の彩へと移ろいでいます。世界的な気候変動で「二季」化が進む季節の巡り。だからこそ、短くてもうららかで過ごしやすいこの今を大切にしたいですね。年度初めの慌たしさも、ようやく落ち着きだしたところでしょうか。この春、新たなスタートを切られた皆さまの不安と緊張が少しずつ和らいできていることを願います。「春の海 ひねもすのたり のたりかな」寄せては返す波のように、穏やかにゆっくりと。あせらず自分の歩幅を取り戻していける、そんな優しい春でありますように。

▶新年度の幕開けとなった4月1日、新人職員や昇任者、派遣職員や派遣から戻った職員などに辞令を手渡しました。今年の新規採用は10人。「こんなまちにしたい」という理念と、「まちをよくするんだ」という覚悟を胸に刻み、そして何より仕事は楽しくやりがいをもってそれぞれの持ち場で存分に力を発揮してほしいと思います。住民の皆さまとともに歩む町政の担い手として、これからの活躍を期待しています。

▶増えている学童保育の利用ニーズに対応するために、蓮池小学校に新しく学童保育所を整備します。令和9年4月の開所を予定していますが、それまでの間は、災害時支援協定を締結している株式会社SIC様にご協力をいただき、ムービングハウス(移動式木造住宅)を活用して設置します。またこの春、ポエムキューピットこども園が新たにオープンしました。待機児童の解消をめざして、今後も子どもたちが安心して過ごせるよう、保護者の皆さまの子育てをしっかりと支えてまいります。

▶もうすぐ待ちに待ったゴールデンウィークですね。各地で楽しい行事やイベントが目白押し。播磨町でも4月25日に大中遺跡公園と野添であい公園で「はりま春風フェス」を開催します。今年のテーマは「み・つ・け・る」。会場近くの「ふるさと橋」では、心地よい風にふかれながら大空を泳ぐ「こいのぼり」がお迎えます。ご家族やお友達と一緒にいろんな発見をしてみませんか。皆さまのお越しをお待ちしています。

播磨町長 佐伯 謙作

## あんぜん・あんしん暮らしのメモ帳

5月は消費者月間です。今年のテーマは、**見える情報 見えない仕組み**  
～AI時代の消費者力を高めるために～

デジタル化の進展に伴いインターネット上で消費者の選考を踏まえた情報を容易に入手できるようになりました。便利な時代ではありますが、デジタル技術利活用や情報提供の仕組みに関する基本的な知識を高めていまいと思われ消費者トラブルにあらうことがあります。

**SNSをめぐる消費者トラブル**

1. SNSの投稿や広告等をきつかけとしたトラブル
2. SNSで知り合った相手からの勧誘がきつかけとなるトラブル
3. SNSで知り合った相手との個人間取引トラブル
4. 「架空請求」の「偽メール・偽SNS」

5. 便利でも注意「インターネット通販」

**ひとつと助言**

- SNSをきつかけとしたトラブルでは取引の相手方事業者やSNS上の知人など関係者との連絡が取れない、実在しているのかも判然としないということもままあります。
- 被害がやまない現状は、SNS事業者への体制整備が十分とは言えません。
- 被害を防止するためには、消費者としてトラブルにあつたとき、またはトラブルに合わないようなような対策をするべきかという認識を持つことが必要です。

おかしいなと感じたり、不安に思ったら、いつでもお気軽に、播磨町消費生活センターにご相談ください。

播磨町消費生活センター  
電話079-435-1999

ご相談は、お電話ご来訪どちらでもご相談ください。ご来訪の場合、産業環境課窓口にお声がけください。

▼相談日時 平日  
(土・日曜日、祝日、年末年始を除く)  
9時～12時 13時～16時

※専門の相談員が相談に応じます。



### 播磨南小学校6年生

#### 6年生が職業体験をしました

6年生は、小学校卒業が迫る2月下旬に職業体験を行いました。

学校で学ぶ知識がどのよう社会に生かされているのか、多様な職業について知り、自分の興味や適性に合った将来の選択肢を広げること、社会貢献の重要性や働くことの意義を学ぶなどのめあてを持って取り組みました。

地域の職業人13人を講師に迎え、2時間の体験活動を行いました。「たくさんの方の力を合わせて舞台が作られていると知り、私も



▲みんなを笑顔にさせる花屋さん



▲みんなの生きるを支える保健師さん

やってみたくて思った」「常に責任のある仕事。だからこそやってみたくて思った」「何もかもが知らないことばかり。プロの「険しい顔をしていない」という言葉。前向きに笑顔で取り組みたい」「これから作る仕事」自分や家族の健康を守るために、学んだことを活かしたい」など大切なことを学んだ時間であったと振り返りました。

その振り返りに共通していたことは、講師の方々の「優しさ」と「仕事を楽しむ笑顔」でした。そして、「とにかく楽しむ」「センスは知恵」など多くの言葉が子どもたちの心に刻み込まれました。

「地域全体を教室化し、学校と地域がともに子どもたちを育てる」活動の一つとなりました。準備から当日の講師など、多大なるご協力をいただきました。ありがとうございました。

### わんぱくはりまっこ



1歳

なかの まなみ  
**中野 愛望ちゃん**  
(北野添)

毎日たくさん幸せをありがとう。  
(パパ、ママより)

※撮影時の年齢です。

**楽屋裏**

先月号の表紙リニューアルに続き、今月号からはページの構成(各ページの掲載順)もリニューアルしました。Informationのページは、前からページ番号順に読み進められるように構成を変更しました。

P2にある「てんいちさんクイズ」の二次元コードで、広報はりまの感想も入力できます。クイズの回答とあわせて、ご感想をお寄せください。

(宮)